

「シューティングロボコン」

小中学生の部 Q&A

平成20年6月21日（土）説明会にて

Q 1 キットの追加はできますか？

A 1 ザ・チャレンジ実行委員会が配付するキットのうち、駆動モーター、駆動ギア、コントロールボックスは変更してはいけませんが、それ以外のホイールベース、タイヤ、ケーブル、打ち出しに使うモーターなどは追加してもいいです。ロボットの装飾については、紙やアルミなど自由です。

Q 2 ホイールベースを変更できなければ、高さ300mmのものを作ったときに転倒してしまうので、変更可にしてもらいたい。

A 2 A 1のとおりです。

Q 3 最初のピンポン球の位置はどこですか？

A 3 エンドラインの中点をピンポン球初期位置の目印とし、10個は、重ならないように初期位置に置きます。3個は、打ち出しラインから400mmの位置のプレート上の中ほどターゲット3枚から打ち出しラインへの垂線上で打ち出しライン内100mmの位置に置きます。従って、1チームあたり合計13個のピンポン球が打ち出しライン内にセットされることになります。

Q 4 反則があったときには計時は止めますか？

A 4 止めます。

Q 5 サイズについて、変形後も300mm立方以内ですか？アームを伸ばして300mmを超えてはいけませんか？

A 5 変形後も300mm立方以内です。アームの長さも含みます。

Q 6 バネを使ってもいいですか？

A 6 いいです。

Q 7 ロボットの形は立方体でなくてもいいですか？

A 7 300mm立方の箱に収まるものならば、どのような形でもいいです。

Q 8 小学生用の講習会はありますか？

A 8 参加決定通知をお送りするときに講習会についての希望の有無をお尋ねします。開催する方

向で検討します。

Q 9 自分たちで作ったものは持ち帰ってもいいですか？

A 9 いいです。

Q 10 決着がつかないルールではおもしろくないので、主催者側が試作をし、レベルの差がありすぎないようにしてもらいたい。また、支給する現物は示してもらいたい。

A 10 どのチームも必ず1枚はターゲットを倒せるようにしたいとの考えに基づき、ターゲットの前に3個を置くこととしている。支給品を示すことについては次回の課題とします。

Q 11 打ち出しラインから85cm飛ばすのは難しいので、打ち出しラインの位置を検討してもらいたい。ターゲットに遠近をつけて獲得点数に差をつけてはどうか？

A 11 打ち出しラインはエンドラインから50cmで変更しませんが、ターゲットに遠近の差をつけるよう変更します。ただし、獲得点数には差をつけません。

Q 12 スタート時に陣地内にピンポン球が13個ありますが、全部打ち出したら競技は終わりですか？

A 12 相手陣地から飛んできたピンポン球を使って競技を続けてください。打ち出しライン内からセンターラインを越えて止まったピンポン球は、そのまま直進したものとみなして反対側の打ち出しライン内に審判が移動させます。打ち出しライン内からセンターラインにとどかなかったピンポン球は、競技終了時まで審判は移動させません。

Q 13 ピンポン球は一発ずつ撃つのではなく、一度にたくさん撃ってもいいですか？

A 13 いいです。

Q 14 ターゲットを近づけて体当たりでも倒せるようにしてもらいたい。

A 14 A 11のとおりですが、体当たりでなくてもピンポン球が撃てるようにできるだけ工夫をしてください。

Q 15 与えられたもののうち廃物まで利用するなど、規定のものだけで最大限の工夫をするのもいいと思う。そうすれば、環境の差が出なくて済む。

A 15 今回は、A 1のとおりといたします。